一乗谷朝倉氏遺跡山城跡

　朝倉館跡の背後には、山城跡が残っています。その主要部は、千畳敷(海抜４０６ｍ)から、最奥部にある三の丸(海抜４７３ｍ)にかけて、約５．２haの範囲に広がっています。発掘調査は実施されていませんが、曲輪、土塁、空堀などの遺構がよく残っています。

⑬竪堀（たてぼり）群

敵の横方向への動きを難しくさせるため、縦方向に掘られた堀で、140条以上が確認されています。

⑫不動清水（ふどうしょうず）跡

山城で唯一の水場で、不動明王像の下から、現在も清水が湧き出ています。

⑪宿直（とのい）跡

入口には石垣と土塁が築かれています。また、平坦部には建物の礎石も残っています。ここからは福井平野を一望でき、日本海までも望むことができます。

⑩千畳敷（せんじょうじき）跡

山城で最も広い面積を持ち(約1,500㎡)、地表には大きな礎石も残り、大規模な建物があったと考えられます。ここが山城の中核であり、長期の籠城に耐えれるような居住空間がつくられていました。

⑨観音屋敷跡

三方が土塁で囲まれ、中央には観音像を納めた建物の礎石などが残っています。この上にあった赤淵神社とともに一乗谷の鎮守として祀られていました。

⑧月見櫓跡

宿直跡の東側に位置し、平坦面には礎石が残っています。

⑦赤淵（あかぶち）神社跡

朝倉氏の氏神である赤淵大明神が祀られていました。建物の礎石などが残っています。

④堀切（ほりきり）

二の丸と三の丸の間には、長さ33ｍ、幅22.3ｍ、深さ6.5ｍの巨大な堀切がつくられています。

⑥空堀（からぼり）

一の丸と千畳敷などがある区画との間には、長さ65ｍ、幅2.8ｍ、深さ0.7ｍの空堀が廻っています。

②二の丸跡

一の丸とは２条の堀切で区画されています。面積約570㎡。

③一の丸跡

面積が約1,100㎡と広大で、二の丸との間には幅7.6ｍ、深さ2.5ｍの堀切があり、西南側には突出し部があります。

⑤伏兵穴（ふくへいあな）群

二の丸から西に200ｍのところに伏兵穴といわれる直径３ｍの窪みが10数箇所みられます。

①三の丸跡

３つの曲輪で構成され、各曲輪は堀切により区画されています。南北長約110ｍ。